

### 先進医療を推進

平成22年度、「腹腔鏡下スリーブ状胃切除術」「内視鏡的大腸粘膜下層剥離術」の2件が新たに先進医療として承認され、7件の先進医療を実施しています。

#### 1 <sup>31</sup> 燐-磁気共鳴スペクトロスコピーとケミカルシフト画像による糖尿病性足病変の非侵襲的診断

患者さんの負担の少ない方法で足病変の診断を早期かつ正確に行います。  
H22年度の実施件数:0件



#### 2 樹状細胞と腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法

がん組織に集中・殺傷するよう培養されたリンパ球を点滴により移入します。本院では、乳がん・肺がん・消化器がん等が対象疾患です。  
H22年度の実施件数:81件



#### 3 抗悪性腫瘍剤感受性検査 (HDRA法又はCD-DST法)

患者さんから採取した腫瘍組織を用いて検査し、個々の患者さんに最適な抗がん剤の選択・投与を行います。本院では、消化器がん・乳がん・転移性肝がん・転移性肺がん・がん性胸膜炎が対象疾患です。  
H22年度の実施件数:103件



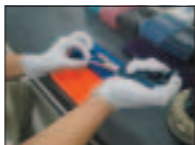
#### 4 超音波骨折治療法

手術が必要な腕や脚の骨折に対して行う治療で、術後微弱な超音波を骨折部位の皮膚の上から当て、回復を早めます。骨がつくまでの期間を約40%短縮できます。  
H22年度の実施件数:0件



#### 5 隆起性皮膚線維肉腫の遺伝子検査

隆起性皮膚線維肉腫の精度の高い診断が可能になり、必要な手術を受ける決断の助けになります。  
H22年度の実施件数:1件



#### 6 腹腔鏡下スリーブ状胃切除術

病的肥満症の患者さんに対して、腹腔鏡を使って胃を一部切除し、細長いチューブ(袖)状にします。開腹手術と比べて体への負担が小さくて済みます。さらに肥満に伴う糖尿病・高血圧・高脂血症等の合併症も高率に改善します。  
H22年度の実施件数:1件



#### 7 内視鏡的大腸粘膜下層剥離術

早期大腸癌を内視鏡的に処置する場合、病巣を一括で切除することは癌遺残の可能性を減少させるために大変重要なことです。内視鏡的粘膜下層剥離術は大きな大腸癌でも一括切除を可能にしました。  
H23年3月に承認。

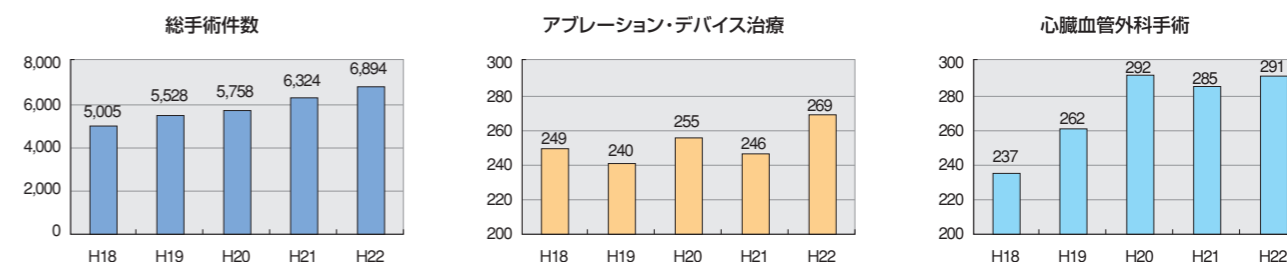


### 高度循環器医療の実施

高度な不整脈治療(アブレーション・デバイス治療)や心臓血管外科手術を多数実施しています。

平成22年度の総手術件数は、平成21年度と比べて570件増加しています。併せて、アブレーション・デバイス治療と心臓血管外科手術も増加してきています。

新たに大動脈ステントグラフト治療を開始し、「腹部ステントグラフト実施施設」「胸部ステントグラフト実施施設」として認定を受け、平成22年度の大動脈ステントグラフト治療件数は8件でした。



ステントグラフト治療とは胸部及び腹部大動脈瘤の低侵襲的治療です。ステントといわれるバネ状の金属を取り付けた新型の人工血管を圧縮して細いカテーテルの中に収納し、患者さんの脚の付け根から動脈内に挿入し、動脈瘤のある部位まで運び、血管内壁に張り付けます。



心臓血管外科手術の様子

### 診療を通して良き医療人を育成

- 医学科学生の臨床実習は、医療を行うチームの一員として「診療参加型実習」を行うとともに、スキルズラボを活用し実践的臨床実習を推進しています。
- 卒後研修では、平成20年度文部科学省「大学病院連携型高度医療人養成推進事業」に選定された「コア生涯学習型高度専門医養成プログラム」を実施しています。
- 「臨床教育看護師育成プラン」事業により設置された看護臨床教育センターでは、実践的な看護トレーニングができる機器を備えた「看護スキルズラボ」を開設して、現役看護師のキャリアアップ、スキルアップのための訓練や看護学科学生の実習にも活用しています。
- 専門看護師や認定看護師の取得を目指して、研修会参加の支援を行い、海外研修として看護師をアイオワ大学(アメリカ)に派遣しました。
- 学外に対しては、がん看護など3回の研修会を開催して、看護師延べ126名を受け入れました。また、151名の看護系実習生の研修も受け入れています。



看護スキルズラボ